

# 台東区青少年委員協議会

令和4年度 その他の活動報告

## 管外視察研修

【日時】 令和4年11月27日（日）

【場所】 茨城県守谷・つくば方面

午前中にアサヒビール茨城工場、昼食を挟み  
午後には JAXA 筑波宇宙センターを視察見学。  
その後、茨城県地元産の農産物などお土産を  
購入して帰途につきました。



## 二十歳の集い（協力事業）

【日時】 令和5年1月9日（月・祝）

【場所】 浅草公会堂

成人年齢を十八歳とする民法改正にともない  
「新成人を祝う会」から「二十歳の集い」に名  
称が変わって、初めての開催でした。

私たち青少年委員は、実行委員会の若者たちと  
共に一年前から式典の準備に参加（関川委員・  
森委員）。また、当日は全員態勢で区職員の皆  
さんとともに運営に従事しました。

二十歳を迎えた皆様、おめでとうございます。



## ミニ講座

【日時】 令和5年2月26日（日）

【場所】 たばこと塩の博物館（墨田区横川）

たばこと塩は、嗜好品と必需品という対極に  
ありながら、どちらも古くから人間生活に溶け  
込んできたという歴史があります。

そんなたばこと塩について勉強してきました。

facebookページ

FB 台東区青少年委員協議会 検索



台東区ホームページ 青少年委員紹介ページ

台東区青少年委員 検索



台東区青少年委員協議会事務局（子育て・若者支援課内）

〒110-8615 東京都台東区東上野 4-5-6 台東区役所 6F

TEL03-5246-1341 FAX03-5246-1289

# たいとう 青少年委員だより

—小学生対象事業・中学生対象事業報告号—

## 第67号

発行者 台東区青少年委員協議会  
台東区

編集者 台東区青少年委員協議会  
広報委員会

発行日 令和5年3月16日

小学生対象事業「親子ふしぎ発見塾」



※親子ふしぎ発見塾は新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
3グループに分かれて実施しました。

中学生対象事業「第17回中学生サミット」



## 台東区の青少年に明るい笑顔を

青少年委員協議会 会長 谷中田 國弘



日頃より台東区青少年委員協議会に、ご理解ご支援いただき感謝申し上げます。

私たち台東区青少年委員の任期（令和4・5年）も折り返し地点の1年を迎えよう  
としています。世間ではいまだに新型コロナウイルス感染症の不安が拭えない状況

ではありますが、少しずつ通常の生活に戻りつつ有るのは、大変喜ばしい限りです。台東区青少年委員協議会もウィズコロナの考えで令和4年度は、ほぼ予定通りの活動を行う事が出来ました。昨年は、夏に各ブロックの地区懇談会、11月に小学生対象事業「親子ふしぎ発見塾」と茨城県での管外研修も開催出来ました。1月は浅草公会堂での「二十歳の集い」開催に協力し、「中学生サミット」も3年ぶりに対面で行う事が出来ました。特にコロナ禍の中で「親子ふしぎ発見塾」「二十歳の集い」「中学生サミット」に参加した児童・生徒・青年達の笑顔がとても印象に残っています。私たち青少年委員はこの素晴らしい笑顔をより多くの台東区の子供達に届けるのが使命だと実感致しました。次年度も青少年の健全育成の為に最大限努力いたしますので、皆様のご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

小学生対象事業 **親子ふしぎ発見塾** -作って学ぼう-

日時：令和4年11月23日（水・祝） 13:30~16:00

会場：台東区役所 10階会議室

内容：(1)割り箸マジックハンド (2)プラネタリウム (3)ゆらゆらふしぎふりこ

参加者：児童101名・保護者およびその家族81名 合計182名

**挨拶**

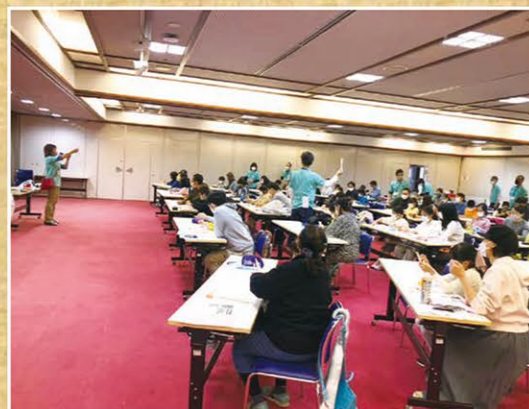
今回の「親子ふしぎ発見塾」も、コロナ対策として小学校ではなく区役所で開催しました。昨年度の経験を基に募集人員を増やし、各部屋の壁を取り払うなど少しでも多くの親子に楽しんで頂けるようにと考えました。3つの工作は以前にも作ったことのあるものに工夫を加え、出来上がった工作で遊んでもらえるようにと考えて用意しました。

また、当日はお忙しい中、お足元の悪い中、箱崎区民部長、佐藤教育長、高森教育委員にお越しいただきありがとうございました。

普段、親子で工作をする機会はなかなか取れないようで多くの方に喜んで頂けたお声を聞くことができ、私たち青少年委員の励みになり、この事業が実施できたこと嬉しく思います。

総務委員長 井原 恵子

**割り箸マジックハンド**



**プラネタリウム**



**ゆらゆらふしぎふりこ**



**当日の様子**



**参加者の声**

ふだんあまりお母さんと工作することがなかったからうれしかったです。

身近なものでこんなすごいことができるなんて驚きました。参加してよかった!

いろいろな人が教えてくれて、わかりやすくてよかった。

工作するには、作るだけじゃなくて、学ぶこともあるんだなあと思いました。



**児童の意見・感想**

久しぶりに子供とモノ作りができて楽しい時間になりました。

子供自ら参加を希望したイベント。工作中も自ら工夫して楽しく進めている姿が見られてよかった。

6年生と2年生の兄妹と一緒に参加できてよかった。

昨年も参加しましたが、毎回工夫のある作品が作れて楽しかったです。



## 中学生対象事業 「中学生サミット」概要

魅力ある学校をつくるには  
～その魅力を後輩達へどう伝えていくか～

### 日時

令和5年1月28日(土) 9:30~11:30

### 会場

台東区役所10階1002会議室

### 参加者

台東区立中学校生徒会生徒 25名



## 挨拶

第17回中学生サミットは3年ぶりに対面で開催することができました。昨年度は準備していたのですが直前で新型コロナ感染拡大により中止を余儀なくされ、書面にて開催することになりました。中学生サミットを経験したことのある生徒もいなくなり、新たな取り組みに生徒会の皆様は勿論、担当の先生方にも多大なご協力を頂き、素晴らしいサミットが開催できたこととてもうれしく思います。

また、箱崎区民部長、佐藤教育長、高森教育委員、各中学校長、各中学校PTA会長など大変多くの来賓の皆様にもご列席いただきありがとうございました。

今回のサミットを通して、生徒会として今後様々な行動を起こすきっかけを作って頂くことが出来たら幸いです。

総務委員長 井原 恵子

## 各校からの発表 ～抜粋～

### 《議長校・御徒町台東中学校》

魅力ある学校とは、人との関わりを大切にできる学校、環境に配慮できる学校だと考え、自己紹介カードの作成、ストーリー性のある食品ロス削減動画の制作を行うことを考えています。

自分の好きなことを書いた自己紹介カードをクラス替えや席替えのたびにクラスメイトと交換し、多くの人と関わることで笑顔あふれる学校づくりの一步になるでしょう。

また、給食が残されているということを伝える動画で生徒自身が興味を持ちやすいようにし、食べ残しはたくさんの人を悲しませることを知ってもらうことにより、食品ロス削減につながり、給食作りに携わっている人との関わりを大切にできると思います。

この取り組みを伝えていくために生徒会本部は、動画撮影や手紙の発行をしていき、少しでも多くの人に協力を呼び掛けていきます。小さな取り組みを積み重ねていくことで、後輩にも伝わるのではないかと考えました。



### 《柏葉中学校》

現在の魅力は、ボランティア活動（大江戸清掃隊、ユニセフ募金）やキャンペーン（チャイム前着席）に自主的に参加しているところです。また、先生や先輩後輩同士の仲の良さ、部活が12あり活発に行っているところです。例えば、手話部は周年・入学・卒業式等の行事で活躍しています。また、その他の部活動でも良い成績を残すなど、多くの生徒が活躍できる場が幅広くあります。

これから取り組みたいことは「生徒会ラジオの実施」と「先輩と後輩が挨拶できる環境をつくること」です。

そして、これらを後輩へ伝えていくために「先輩が後輩に行動で伝える」「動画を含めたスライドショーなどの活用」「挨拶運動の改善」にも取り組んでいきます。

実行するにあたり中央委員会などで話し合ったり、意見箱やアンケートで生徒の意見も取り入れたりしながら魅力ある学校を作っていきます。



### 《上野中学校》

上野中学校生徒会本部が考える魅力ある学校とその取り組みについて報告します。

1つ目、魅力のある学校とはあいさつが盛んである学校のことだと考えます。

2つ目、生徒の行事への参加意識が高い学校のことです。

これらの魅力をどのように後輩に伝えていくか考えてみました。

1つ目は、学校内での挨拶を習慣化させることです。校内で先輩から挨拶をすることで、はじめは挨拶に積極的でなかった生徒も挨拶の習慣ができるようになります。

2つ目は、学年を越えたつながりを大切にすることです。運動会では、ソーラン節と創作ダンスなど学年を越えて教え合う交流を伝統として後輩に引き継ぎます。

様々な企画を生徒が主体となって実施をする。そこから議論を活性化させ、各種委員会と協力し合いながら、生徒の意見を大切にして活動しています。今後も魅力ある学校づくりや学校の魅力を後輩へ伝えていきたいと思っています。



### 《忍岡中学校》

魅力のある学校とは、『当たり前がしっかりとできる学校』、『たくさんの生徒と関わることができる学校』の2つがあると考えます。

当たり前というのは、挨拶や校則、マナーを守る事です。たくさんの生徒と関わる事とは、コロナ禍で関わる機会が減っている中で、体育大会や合唱コンクール等の行事で色々と工夫をし、他のクラスや学年と協力し互いを高めあって行く事。行事以外でも「挨拶チャレンジ」や「メッセージカード」、「生徒会新聞」の作成等のイベントを活用して、同学年だけではなく、他学年との交流を図ります。これらを用いてクラス単位だけではなく、学校全体で良い学校を作っていくことに向けて1つになることができるのです。



### 《浅草中学校》

魅力のある学校とは、生徒1人1人が学校生活に関わることを大切にしている学校だと思います。浅草中学校は各委員会がコンテストを行っています。給食準備コンテストは、「いただきます」の挨拶までの速さを競います。安全に行うことも考慮されています。実施後は素早く準備や行動ができるようになりました。このように課題に向き合い解決に努めようとしています。

学校の魅力を後輩に伝えていくには、生徒会新聞を活用して常に生徒の目に入ることが大切だと思います。浅草中学校では月に1回生徒会新聞を発行するようにしています。生徒の目に入るように、生徒会が伝えたい内容だけでなく、生徒が気になる記事を入れるようにするなどの工夫をしています。



### 《桜橋中学校》

桜橋中学校は小規模で、生徒同士、先生と生徒の繋がりが深い学校です。今年で創立20周年を迎えます。今年度の生徒会スローガンは「一笑懸命～笑顔と魅力あふれる桜中へ～」です。生徒一人一人の意見が尊重され、みんなが楽しく笑顔で安心して過ごせる学校にするために、以下のことに取り組んでいきます。

1つめは、全校生にアンケートを実施し、そこで出た学校生活の課題に対する対策を考え協力して解決することです。

2つめは、給食時の放送の工夫です。季節の行事に合わせた音楽を流し、楽しい時間を過ごして欲しいです。

桜橋中学校の魅力を後輩に伝えるために、学校紹介 VTR を作成することや、紹介ポスターを近隣の小学校に掲示してもらうことなどを計画しています。また、地域との交流を深め、地域に役立つ活動を行い、桜橋中学校の魅力を地域や後輩に伝えていきたいです。コロナ禍でも出来ることを探し、より魅力あふれる桜橋中学校にしていきたいです。



### 《駒形中学校》

私たちの中学校の魅力は三つあります。

一つ目は、挨拶が活発なところです。毎朝生活委員が生徒玄関前、生徒会本部役員がオープンスペースで挨拶運動に励んでいます。

日常でも来校者の方などに挨拶をするように心掛けている生徒がいます。「挨拶の駒形」を目指し、いつも挨拶の絶えぬよう努めています。

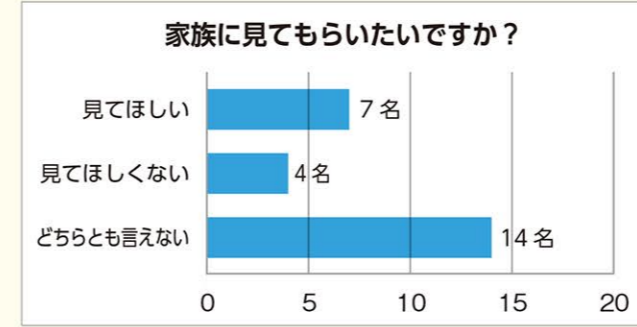
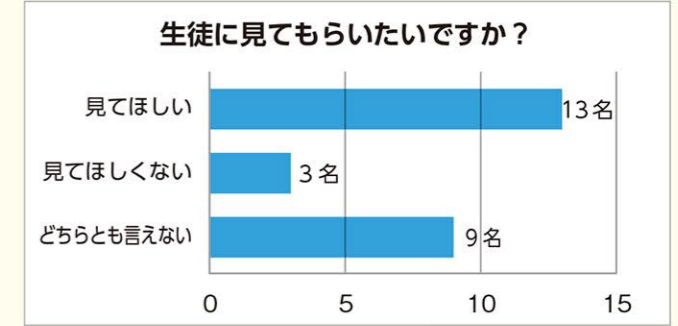
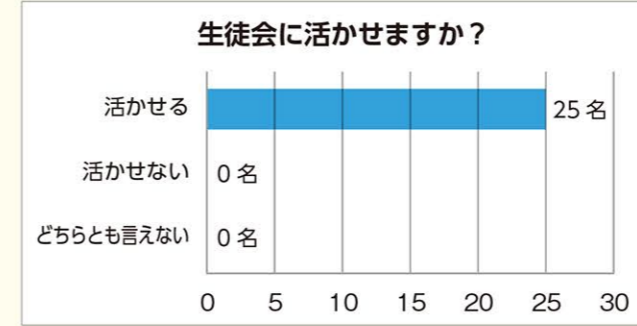
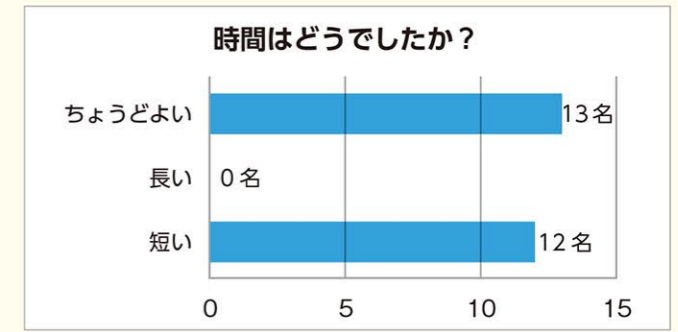
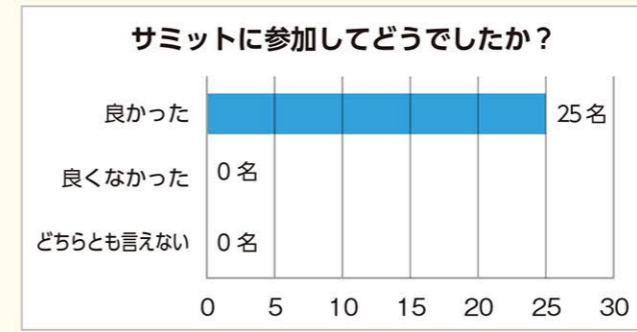
二つ目は意見箱の設置です。この箱は「より良い学校づくりをできるようにする」を目的としています。設置することで先生からの意見や生徒側からの要望も生徒会本部を通して学校全体で共有でき、その要望を生かした案を考えることができます。要望例として「ネックウォーマーの使用」「靴の色の範囲を広くしてほしい」などがあり、どちらも新しい校則として採用されています。

三つ目は清潔を心掛けている事です。改修工事を予定していましたがコロナウィルスの影響もあり延期になりました。そこで環境整備に力を入れるため生徒会本部役員と生活委員、ボランティア部を中心に清掃活動を行っています。

駒形中学校は、生徒会本部役員が中心となり生徒一丸の理想の学校づくりを目指して頑張っていこうと思います。



## 参加した感想 ～アンケート抜粋～



### 今回のテーマについて

- 先輩、後輩の関わりが減った今、とても悩ませられるテーマでした
- 普段の学校生活ではテーマにしないものを発表し合えたので、色々な発見がありました
- いろんな学校の魅力がわかってよかった
- 学校向上のためにとても大切なことだと思いました
- とても良いテーマだと思った。新しく始めることができることもあったし、改善していけるところもあったのでよかった
- これからもっと良い学校にしていく上で、とても良いと思う
- 意外と考えることが多く大変だったが生徒活動に活かせることが多く良かった

### 参加した生徒の感想

- 今後の生徒会活動に取り入れることがたくさんあり、とても勉強になった
- 普段は関わる事のない学校の意見などがきけて、とてもいい経験になった
- なかなか他の中学校と関わる機会がないから、こういう場はありがたくとても面白い
- 他の学校の方からの意見などから発見があったり、真似をしてみたいと思ったので、生徒会の活動でテーマを決めて話し合おうと思った
- 自分たちからは見えない新たな視点から物事について考えることができた
- 最初はとても緊張していたけれど、他校の話を聞いていたら、楽しくなった
- 各中学校でも同じ所もあればもちろん違う所もあって参考にしたいことを学べた
- これからの生徒会でも行動に移し、さらに話し合っていくことで、より魅力ある学校にしていきたいと思いました

### 中学生サミットのテーマとして話したいこと

- 生徒主体の学校にするためには
- 他学年との交流について
- 生徒一人一人が尊重されるために
- 校則について
- 制服について
- 部活について
- 学校でのSDGsについて
- 地域との交流が深い学校をつくるには
- 他校との関わりを深めるためには
- 勉強嫌いな子でも、学びたい、楽しいと思える学校とは